

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校・家庭・地域が連携して児童の教育に携わることができた。職員・保護者・児童・地域対象の教育に関するアンケート調査においても、それぞれに高い評価を得ることができた。</p> <p>・引き続き、学力向上に向けた指導法の改善を図る必要がある。5年生は県の学習状況調査で県平均値を上回ることができなかったが、昨年度よりは得点平均が上がっている。児童の実態を分析し、課題を明らかにした上で指導法の改善を図っていく必要がある。</p> <p>・いじめの認知、対応について、複数で対応することができた。これまで同様にいじめの未然防止、早期発見、早期解決に複数で取り組んでいく必要がある。</p> <p>・働き方改革の視点から、職員一人一人に超過勤務を削減する必要性の意識付けはできてきたが、その実現に向けた具体的な取り組み方の工夫を考える必要がある。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>「笑顔で元気な大川内っ子」の育成</p> <p>～自ら学び、行動し、やさしい心で共にのびる～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>・地域の協力を受けながら教育活動を展開し、地域のよさを誇りに思い、地域の「人・もの・こと」と連携し、成長していくことに喜びを感じる児童を育成する。</p> <p>・常にすべての児童が、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することを意識した学習活動を展開する。また、校内研究を軸に、学ぶことの大切さを知り、学ぶことの楽しさを身に付け、学びを深化させようとする児童の育成を目指す。</p> <p>・家庭や地域、専門機関との連携を図りながら児童の学習面や生活面の様子をしっかりと見取り、複数で対応していく。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、自分の思いや考えを伝えて伝えることのできる力の育成	○国及び県の学習状況調査やCRT検査において、全国や県の平均値を上回ることを目指す。 ○学年末のまとめテストで全国標準得点以上を目指す。	・校内研修科の国語を中心に、児童が自らの考えを持ち、対話活動等を通して、学びを深化させていける授業改善に取り組む。 ・モジュールや宿題等を工夫し、児童の学力につながる指導を行う。	・	・	・	・	・	・	岩本(学力CD) 小松(研究主任)
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○90パーセント以上の児童が、交流をしているときや、交流後に書く感想で、誰もが交流を持った相手に対し、思いやりのある気持ちや相手を敬う気持ちなどを表現することができる。	・縦割り活動を行ったり、特別支援学校との交流を行ったりしながら相手を思いやる気持ちや敬う気持ちを育てる。	・	・	・	・	・	・	志方(特別支援) 永尾(道徳推進教員)
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努める。 ○「学校が楽しい」と答える児童90%以上を目指す。	・月1回の「心のお天気」アンケートや普段の関わりから、児童の友人関係や悩み等を把握する。 ・アンケート実施後、気になる児童については聞き取りを行い、連絡会等で情報共有をしていく。 ・SCやSSWと情報交換を密にし連携を図りながら、家庭を交え様々な面から支援していく。	・	・	・	・	・	・	永尾(生活指導) 山下(教育相談)
	●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・学期初めや行事活動ごとに目標を立て、終わりに振り返りをする時間をとり、頑張りを認める。 ・日頃から児童の頑張りを見つけ、声かけしたり、学級通信に書いたりして伝える。	・	・	・	・	・	・	・
●健康・体づくり	○元気なあいさつや温かいことばづかいで交流する児童の育成	○「あいさつができて」と言える児童の割合や地域、保護者の割合も80%以上にする。 ○「言葉づかいに気を付けている」と言える児童の割合や地域、保護者の割合も80%以上にする。	・場に応じた言葉遣いやあいさつができるように、全職員で日常的に指導する。 ・学級指導や道徳などで、児童の実態に合わせた取り組み、意識の向上を図り、日常に生かす。	・	・	・	・	・	・	永尾(生活指導) 久保香(生活指導)
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上	・栄養教諭と連携して、低中学年を対象に食育の授業を実施する。 ・保健だより等で、年間を通して、食育を通して健康づくりを呼びかける。 ・朝食喫食率を95%以上を目指す。	・	・	・	・	・	・	山下(保健) 永尾(生活)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○元気に遊び運動する児童の育成	○アンケートで「外で遊んだり、運動したりするのが好き」と答える児童90%以上を目指す。	・なかよしタイム(縦割り活動)や体育科の授業を通して運動に親しませながら、体力の向上を図る。	・	・	・	・	・	・	山崎(体育) 入山(体育)
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・金曜日を定時退勤日とし、定時退勤を推進する。 ・平日は、19時をめやすとし、また、月45時間以上の超過勤務がないよう呼びかける。 ・タイムマネジメント等について研修を行っていく。	・	・	・	・	・	・	佐々木(教頭) 岩本(教務) 各担任
●会議や事務の効率化	○会議や事務の効率化	○会議の超過時間0を目指す。 ○誰もが手軽に必要な文書や授業の教材等を、校務サーバーから取り出せると感じられるように整理する。	・資料の事前配付と、資料を読んだからの参加を徹底したり、会議の開始、終了時刻を厳守したりする。 ・校務分掌や教材研究等に対する時間削減のために、文書や授業の教材等を校務サーバーに保存し、有効活用する。	・	・	・	・	・	・	佐々木(教頭) 岩本(教務) 各担任

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ふるさと学習の充実	◎地域の「人・もの・こと」とふれあい、そのよさを感じ、地域を大事にする心を育む教育活動	◎地域の「人・もの・こと」に愛着を持ち、大切にしていきたいと感じる児童を90%以上にする。	・田んぼの学校、各学年の発達に応じたふるさと学習、見守り隊の方とのふれあい等のよさに気づかせ、感謝の気持ちを育む。	・	・	・	・	・	・	岩本(教務) 佐々木(教頭)
○特別支援教育の充実	○特別な配慮を要する児童に対する個別の支援計画、指導計画に基づいた支援	○職員会議や職員研修等で、特別な配慮を要する児童について共通理解を踏るとともに、専門家の話を通して理解を深める。	・特別な配慮を要する児童をリストアップし、丁寧な見取りを行う。 ・夏季休業中に専門家を招聘しての研修を行い、個別の支援計画、指導計画について見直しを行う。 ・地域の見守り隊の協力も得ながら、交通ルールについての声かけを常日頃行う。 ・交通安全教室、集団下校において、繰り返し、交通安全についての話を挙げる。 ・アンケートを実施し、児童のインターネット機器や環境についての実態を把握する。その結果を踏まえて、保護者と児童向けに情報モラル教室を行う。	・	・	・	・	・	・	志方(特別支援) 久保香(特別支援)
○危機管理の強化	○交通安全等の指導	○「交通安全に気を付けている」と思う児童、「危険から身を守る能力が身に付いている」と思う保護者を80%以上にする。	・	・	・	・	・	・	・	志方(特別支援) 久保香(特別支援)
	○情報モラルの指導	○情報モラルについて、十分に理解できている児童を90%以上にする。	・	・	・	・	・	・	・	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------